

◇は年齢 出典：「兼見卿記」「瞬旧記」「智仁親王御記」「戦塵の中の文芸」「智仁親王御年曆」「織豊期主要人物居所集成」etc

年号	西暦	藤孝-幽斎	八条宮智仁親王
永禄11	1568	10月14日 信長・義昭入京 藤孝<35>	
元亀2	1571	2月5～7日。大原野千句が興行される 4月16日 紹巴邸にて和漢聯句興行 10月14日 勝龍寺城の普請を始める	
元亀3	1572	9月18日 兼見、勝龍寺城を訪れ滞留 12月6日 三条西実澄に古今伝授の誓状<39> 以後、古今伝授の講釈が行われる	
元亀4	1573	6月5日 勝龍寺城で藤孝発句・紹巴脇の連歌 6月6日 紹巴が橋本高好へ書状を出す<勝龍寺城主> 7月10日 信長より西岡の一職支配を与えられる 7月18日 榎島城の足利義昭降伏。 室町幕府滅亡 長岡藤孝として西岡支配<40>	
天正元	〃	9～10月 西岡各所に安堵状を発給	
天正2	1574	2月 多聞山城に留守番として入場 2月21～ 多聞山城にて古今伝授の講釈 3月7～9日 春日社に於て講釈修了 6月17・18日 勝龍寺城に於て切紙伝授	
天正3	1575	10月 物集女疎入を勝龍寺城にて殺害 12月18日 兼見、勝龍寺「沼田弥七郎」宅にて面会	
天正4	1576	4月～7月 大坂本願寺攻めに参陣 10月12日 三条西実枝から伝授証明状 10月27日 兼見、古今伝授日本書紀の注解を持参	
天正5	1577	10月1～10日 松永久秀を討つ 12月11日 勝龍寺城新造御殿にて連歌興行	
天正6	1578	10月10日 兼見、勝龍寺城にて囲碁 (勝龍寺城-吉田・京-坂本-安土-戦場を往来)	
天正7	1578	1月24日 三条西実枝没 6月18日 三条西公国へ古今伝授を開始	1月8日 誠仁親王の第六皇子として誕生
天正8	1580	8月4日 信長より丹後国を与えられ下向	
天正9	1581	4月12日 丹後智恩寺に於て茶会・連歌	
天正10	1582	6月2日 本能寺の変 出家して幽斎玄旨<49> 6月13日 山崎の合戦 7月11日 秀吉より忠興に丹後が与えられる	
天正12	1584	10月14・15日 秀吉の大坂城茶会に参加	
天正14	1588	1月27日 秀吉の連歌興行のため坂本へ下向 4月1日 秀吉より勝龍寺・神足等3000石を安堵 (丹後-勝龍寺城-吉田・京-戦場を往来) 12月3日 「天橋立縁起」を兼見に見せる	豊臣秀吉の猶子となる<11>
天正15	1587	秀吉の九州征伐へ従軍	
天正16	1588	11月28日 中院通勝に古今伝授を行う	
天正17	1589		12月 八条宮家創設 (秀吉に鶴松が誕生したため猶子解消)
天正18	1590	古今和歌集を書写する	

		12月2日 聚楽亭にて石田三成の茶会に参加	
天正20	1592	1月18日 秀吉との間で贈答歟 (この年、肥前名護屋へ)	
文禄5	1596	3月 智仁親王に「伊勢物語」を講釈 (丹後－吉田・京－伏見を往来)	
慶長2	1597	智仁親王と連歌会に参加	
慶長3	1598	1月28日 智仁親王、禁裏月並之歌を幽齋に点取 6月1日 智仁親王御殿での御会に参加 9月9日 智仁親王に祇候 12月 智仁親王、幽齋に点取の十首を詠ず	
慶長4	1599	2月25日、智仁親王、幽齋に五十首の合点を依頼 3月14日 幽齋、智仁親王に祇候 6月23日 天橋立見物にて和歌を詠む	
慶長5	1600	2月16日 幽齋、古今伝授を八条殿へ申し入れる 3月5日、八条宮邸で連歌。3月9日智仁親王五十首を清書し、幽齋に提出 3月19日 智仁親王への古今伝授を開始 幽齋<67> 智仁親王<23> 5月29日 出陣用意のため丹後へ帰国 7月27日 田辺城が攻撃される 7月29日 「古今相伝の箱」と古今伝授証明状を智仁親王に授け、古今伝授証明状を与える 9月12日 田辺城を開城 9月15日 関ヶ原の合戦	
慶長6	1601	1月5日、智仁親王、幽齋へ試筆歌を送る 11月23日 八条宮邸にて連歌 閏11月26日 豊前へ下国	
慶長7	1602	3月18日 智仁親王の禁裏御着到和歌に添削 3月24日 八条殿へ祇候 4月10日 智仁親王、古今伝授の巻物を幽齋に返却 4月19日 智仁親王、幽齋から「神道大意」を借り書写 5月1日 幽齋八条殿へ宿泊 8月14日 智仁親王、「古今伝授座敷模様」を書写する 9月11日 智仁親王、幽齋に『古今集鈔』の不審を尋ねる 10月5日 智仁親王、古今集相伝箱の返却のため、幽齋妻に預ける 11月2日 「古今和歌集聞書」清書に幽齋の加判を得る→古今伝授の修了 12月7日 八条殿に於て当座歌会 南禅寺天授庵を再建	
慶長8	1603	烏丸光広に古今伝授	
慶長9	1604	6月11日 中院通勝に古今伝授証明状を与える 閏8月11日 三条西実条に古今伝授開始	後陽成天皇の源氏物語講釈を聴聞
慶長10	1605	(吉田・京－豊前を往来)	
慶長13	1608	このころより老病篤し	
慶長14	1608	11月29日 智仁親王、「幽齋来、老耄之躰也」と記す	
慶長15	1610	8月20日 京都三条車屋町にて死去<77>	
元和5	1619		12月6日 智忠親王誕生
元和6	1620		下桂の茶屋造宮開始
寛永2	1625		12月 後水尾天皇に古今伝授
寛永6	1629		4月7日 八条宮邸にて死去<51>